

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		キッズワールドサポートOCEAN II		公表日		令和8年5月29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	4	2	3月から4月にかけてロッカー等の配置を変え、少しでもスペースを広く確保できるようにしました。	ボール遊びをする際は狭く感じる時がある。曜日でボール遊びの有無を決め遊び方を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		状況に応じて1対1で支援するなど対応しております。	今後も継続して行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	段差が高い所は踏み台を設置してます。全てのバリアフリー化は難しいので歩行が不安定な児童は付き添って行動してます。	コーナーガードをしている所も時間がたつと外れてしまう為、しっかりとしたガード対策を考え対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	オモチャの消毒など毎日行い、心地よく過ごせるような環境作りを心がけています。	床の絨毯の清掃が出来ていないので、定期的に清掃を行ってきたいです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	4月の模様替えて静かな活動をする場所は少し作事が出来ました。	児童からの要望や、必要ケースに応じて使用できる部屋はあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	子ども達の支援について定期的に会議を行い見直しを行っています。	今後も子ども達の成長に合わせた支援を行っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者の意見を踏まえて、業務改善について話し合いを行っています。	評価表だけでなく、随時保護者からの要望等あればその都度話し合いし改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	職員会議を行い、意見を集め改善策を話し合っています。	会議だけでなく、その都度意見があれば共有し児童支援に活かせるように努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	第三者を交えた外部評価を実施したことがありません。	第三者委員会はありますが、話し合いは実施できていないので今後取り組んで行きたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内での研修も行い、外部で研修があれば参加するようにしています。	事業所内でも勉強会や研修を増やしていきたいです。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4	支援プログラムを作成し、公表しています。	より良い支援の為、必要に応じてプログラムの改善に努めていきたいです。また新入職員への周知も徹底していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		支援計画書作成時に、家族からのアセスメント情報や事業所内で作成したアセスメントを基に児童の成長に合わせた計画書作成を実施している。	保護者との情報共有を密に行いながら計画書作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童の成長に合わせた支援が行えるよう、モニタリングや支援会議を職員で行っています。	今後も情報共有を行い、支援計画書を作成していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		適宜に会議を行い、職員間で支援方法の話し合いや、共有を行っています。	情報共有を密に行い、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	個別のケース内容や支援内容の記録を行い、職員間で振り返りし、情報共有を行い児童支援の質の向上に努めています。	再度アセスメントの必要性を職員間で話し合い、理解に努めていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		家族のサポートも行えるように支援計画書を作成し、地域支援・移行支援の内容を記載しています。困り感や情報共有が必要な場合は個別で面談の場を設けサポートできるよう配慮しています。	児童の成長に合わせて家族、地域、学校と連携が必要であれば積極的に情報共有の徹底を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会議で話し合いを行い、プログラムを作成しています。	今後も継続して行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		なるべく前月と被らないように職員間で意見を出し合ったり、児童に意見を募って作成しています。	今後も継続して行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	一人一人に合った支援計画書を作成し、支援を行っています。	今後も継続して行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	午前中や午後出勤時など適宜に情報共有の場を設け、支援をしやすい環境を作っています。	今後も継続して行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りを行い、各自意見を出し合い情報共有を行っています。また、業務終了後に不在の職員には翌日、情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日の児童の行動や発言等で気になる所は記録を残しており、支援計画に沿った支援内容に対する記録も行っていきます。	記録を行うとともに、情報共有も大切にしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	適宜にモニタリングを実施しています。	今後も継続して行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		事前に職員間でも話し合いを行い、情報共有し代表者が参加しています。	臨機応変に対応出来るよう、固定した職員だけにならないよう協力していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	学校や保育の現場、障害福祉との連携は図れています。	主治医や地域の保健との連携が薄いため、今後強化していきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	必要に応じて情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	必要に応じて情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5	スーパーバイズと連携はされていないが、地域主催の研修へ参加するようにしています。	助言が欲しい時にどこへ確認して良いかわからず困る事があったので、明確にしていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	保育園等とは交流できませんでしたが、夏休みに学童クラブや他の事業所とのスポーツ大会で交流はしました。	令和8年度は保育所やこども園などとの交流の機会も作ってきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		引き継ぎ時や連絡帳アプリ、LINE等で日々の状況をお伝えしています。	保護者から困り感や支援についての相談があればその都度話し合いを実施していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	ペアトレ等は行えていません。	今後検討していきたいです。また、研修情報があれば保護者様へ共有していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。見学や体験時にも大まかな説明は行い理解を得られるようにしています。	分かりやすい説明の仕方を考えていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントの作成を行い、原案を作成し了承を得た上で作成する事を心がけています。	今後も児童や家族の意向に沿ったサービス提供を心がけていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画書作成後は、保護者へ説明・確認を行い、同意を得るようにしています。	今後も継続して行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があった際は、職員間でも共有し意見をまとめ、保護者へお伝えしています。	今後も保護者へのサポートにも力を入れていきたいです。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会を開催し、親子や兄弟揃って身体を動かし楽しく交流出来る機会を設けました。	令和8年度は保護者会で身体を動かすだけでなく、保護者同士の交流の場が設けられるような機会を作りたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談等があれば早急に対応し、事業所内で話し合いを行い保護者へ周知していけるよう行っています。	迅速かつ適切に対応するよう努めていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		連絡帳アプリやLINEで情報の発信を行っています。毎月のお便りは活動内容や様子など写真を載せて配布しております。	SNSでの発信が少ないので、後は発信もこまめに行っていきたいです。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		保護者から同意を得て、HPやSNS・お便り等へ載せています。また個人情報は鍵付きの棚で保管しています。	今後も個人情報の取り扱いには気を付けていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々の特性に合わせたツールを活用する様にしています。保護者へも分かりやすい言葉で伝えるようにしています。	今後も配慮を行っていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	地域の方を招待するイベントは開催できませんでした。	地域との関わりが持てる活動やイベントを考えていきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	マニュアルは作成しています。	周知する機会を持っていないので、定期的に周知できる取り組みを考えていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	BCP計画を基に訓練を実施しています。	訓練を増やし、児童・職員共に非常時に対応できる知識・自信を付けていきたいです。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		対象児童が居る場合は事前に話し合いを行っています。	現在は対象児童がない為、今後の為に勉強会など学びの場を作っていきたいです。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーの児童がいません。	現在は対象児童がない為、今後対象児童に対しては適切な対応をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	定期的に安全対策委員会を開催し、事業所内や戸外活動で利用する場の安全確認を行っています。	施設内外の安全確認の見直しや、戸外活動での利用場所の安全確認の頻度を増やしていきたいです。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5	周知が出来ていません。	周知する機会が少ないので今後定期的に実施出来るように努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットのケースが発生した際は記録を作成し、職員間で共有、改善策の話し合いを行っています。	再発防止の取り組みと職員間での周知・連携を図っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に虐待防止委員会を主に研修を開催しています。	今後も虐待防止の取り組み実施と、学びの場を増やしていきたいです。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	必要時に保護者へ説明、同意を得ているが計画書への記載はまだ出来ていない。	計画書への記載・見直しを行っていきます。	